

のびのび通信 第86号

2014年1月



2014年、明けましておめでとうございます。

今年は、発達障害児支援サークル「のびのび」発足10周年を迎える節目の年になります。子ども達の笑顔を見たいとはじめた活動も、多くの方々に支えられて10年という節目に到達することができました。本当にありがとうございます。

今後とも、よろしくお願いいたします。

新年最初の活動は、チョコレートにいろいろデコレーションしてオリジナルのチョコレートに大変身させました。つまみ食いしながら、甘い香りに包まれた活動ですが、結構、時間がかかって、真剣に作っていました。



工作っぽいですが、部品に使っているのは、チョコレートなどのお菓子。もちろん、完成後は食べることができます。だから、ノロウィルス対策も欠かせません。しっかり、専用の石けんをつかって、手洗いです。

今日は、手順書がなかったためか、何をつくるのか、イメージがなかなかまとまりませんでした。でも、作品例の写真集を用意していたので、それをヒントに創作開始です。板チョコをキャンバス代わりにイラストをお菓子でかたどったり、ジュエリーボックス風の小箱をチョコで作ったり、中には、2階建てのお家という大作も誕生しました。

そこまでできると、後は、色鮮やかに飾り付け。小さな部材を並べて、まるでタイル絵のような仕上がります。

発達障害児支援サークル「のびのび」の活動は、益田市立子育て支援センターを貸切で利用させていただくことが多いのですが、今回は、他の部屋をイベントの託児で利用されていました。スケジュールの中に、「●●室は、他の人が使っているので、入ることができない」ことをソーシャルストーリーで書き込んでみると、誰一人として、その部屋に入ろうとしないというか、情報がちゃんと伝われば、その情報に沿った行動ができることを改めて感じさせられました。実は、ひとりほど、その部屋のことが気になる子がいたんですが、その子は定型発達の子。「ダメ」と言われるとかえって興味をそそられるようでした。

【活動にご支援いただいています】

毎年、明治ホールディングスの株主の皆様から、たくさんのお菓子をいただいている発達障害児支援サークル「のびのび」。今年も、チョコレートやカールなど、たくさんのお菓子を贈っていただきました。そして、今回の活動にも、板チョコなど部材として活用させていただいています。本当にありがとうございました。